



▲開会式に臨む三市の選抜選手たち

**三市の交流
子どもたちにも**

白石市・登別市・海老名市
姉妹都市少年野球交流大会

10月8日(土)～10日(月)、神奈川県海老名市で『白石市・登別市・海老名市姉妹都市少年野球交流大会』が行われ、登別市からは市内の少年軟式野球チームから選抜した12人の選手が、白石市と海老名市の選抜チームと対戦し、見事に勝利を収めました。

大会は、三市の『トライアングル交流宣言』により実現したもので、子どもたちは野球の試合だけではなく、海老名市の児童宅にホームステイをしたり、テーマパークを訪れたりするなどして、楽しく交流を深めました。

10/
8～10

**縄文時代の生活に
思いをはせる**

第4回登別縄文どきどきまつり

10月1日(土)、市は、のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』で、『第4回登別縄文どきどきまつり』を開催しました。

この催しは、学びながら縄文文化に理解を深めてもらおうと、平成20年から毎年開催しています。

会場では、黒曜石のナイフ作りやまが玉作り、土器の野焼き、火起こし体験などが行われたほか、千歳市埋蔵文化財センターの高橋理さんが『海を越えてもたらされた動物たち』と題して講演。参加者はメモを取りながら、熱心に聞き入っていました。

10/
1



▲黒曜石のナイフ作りを楽しむ親子

**タスキに児童虐待
防止の願いを込めて**

登別市児童虐待防止タスキリレーマラソン

9月23日(金)、市は、児童虐待への関心を高めてもらうため、道内でも珍しい取り組みとして、『第1回登別市児童虐待防止タスキリレーマラソン』を初めて開催しました。

このマラソンは、児童虐待防止を訴える『オレンジリボン運動』にちなみ、児童が『防ごう児童虐待』などと書かれたオレンジ色のタスキをつなぐもので、鷺別・若草・富岸各小学校の児童55人が参加。児童は、沿道の市民からの声援を受けながら、『登別走ろう会』の会員の先導で、鷺別小学校から若草小学校を経て富岸小学校までの全長4・3キロメートルを5区間に分かれて走り、児童虐待の防止を呼び掛けていました。

9/
23



▲児童虐待の防止を訴えながら走る児童と『登別走ろう会』の会員